

しょう4 しゃかい「郷土を開いた人々」 その2

なまえ _____ がつ にち てん _____ / 20

1 おおあめ ていぼう
大雨で 堤防が こわれると、どうなる？

ア 水が へり、水不足になる イ 川が なくなり、道になる

ウ 田が 広がり、米が よく とれる エ 水が あふれ、田や 家が 水に つかる こたえ _____

2 いのうただたか せいかく にほん ちず つく
伊能忠敬は どうやって 正確な 日本地図を 作った？

ア 飛行機から 写真を とった イ 人工えいせいを 使った

ウ 全国を 自分の 足で 歩いて 測量した エ 外国から 地図を 買った こたえ _____

3 くまもとけん たに みず おく えど じだい つく いし はし
熊本県にある、谷を こえて 水を送るために 江戸時代に 作られた 石の橋は？

ア 日本橋 イ 通潤橋 ウ レインボーブリッジ エ 瀬戸大橋 こたえ _____

4 おお こうじ ひと
大きな工事を なしとげた 人が たたえられるのは なぜ？

ア 自分だけ もうけたから イ 工事に 失敗したから ウ 人々の 暮らしを 豊かにしたから

エ 何も しなかったから こたえ _____

5 ようすい かんたく おお こうじ すす なに ひつよう
用水や 干拓のような 大きな工事を 進めるには 何が 必要だった？

ア 一日の 作業 イ たった一人の 力 ウ 多くの 人の 協力と 長い年月 エ 新しいゲーム機

こたえ _____

6 ていぼう たけ き う なに
堤防に 竹や 木を 植えたのは 何の ため？

ア 根で 土を しっかり 固めるため イ 夏の 日かげを 作るため ウ 鳥を たくさん 集めるため

エ 実を 売って もうけるため こたえ _____

7 むかし ようすいろ みず なが つか こめ こな
昔、用水路の 水の 流れを 使って、米を ついたり 粉を ひいたり した しかけは？

ア 水車 イ 自転車 ウ 電車 エ 風車 こたえ _____

8 た みず ひ ひと て つく みず とお みち なん
田に 水を 引くために 人の 手で ほって 作った 水の 通り道を 何という？

ア 用水路 イ 線路 ウ 高速道路 エ 下水道 こたえ _____

9 かわ みず た わ ようすいろ つく くふう
川の水を あちこちの 田へ 分けるために 用水路に 作られる 工夫は？

ア 信号機 イ 水を 分ける 水門や 分水 ウ 高いかべ エ トンネルだけ こたえ _____

10 ^{そくりょう} 測 ^{けっか} 量の ^{こうじ} 結果を ^{けいかく} もとに ^ず かいた、^{なん} 工事の ^{けいかく} 計画の ^ず 図を ^{なん} 何という？

^{せっけい} ア 設計図 ^{てんき} イ 天気図 ^{ねんぴょう} ウ 年表 ^{じかんわり} エ 時間割 ^{こたえ} _____

11 ^{えど} 江戸時代の ^{こうじ} 工事で、^{いし} かたい 石を ^{つか} わったり ^{どうぐ} けずったり ^{なん} するのに ^{なん} 使った ^{なん} 道具は？

^{でんどう} ア ショベルカー ^{なん} イ 電動ドリル ^{なん} ウ ブルドーザー ^{なん} エ のみと つち ^{こたえ} _____

12 ^{ようすいろ} 用水路を ^{つく} 作る ^{じゅんばん} ときの ^{ただ} 順 番として ^{なん} 正しいのは？

^{そくりょう} ア 測量 → ^{すいろ} 水路を ^た ほる → ^{みず} 田に ^ひ 水を ^ひ 引く ^{そくりょう} イ 測量 → ^た 田に ^{みず} 水を ^ひ 引く → ^{すいろ} 水路を ^た ほる

^た ウ 田に ^{みず} 水を ^ひ 引く → ^{そくりょう} 測量 → ^{すいろ} 水路を ^た ほる ^{そくりょう} エ 水路を ^{すいろ} ほる → ^{そくりょう} 測量 → ^た 田に ^{みず} 水を ^ひ 引く

^{こたえ} _____

13 ^{めいじ} 明治時代、^{ふくしまけん} 福島県で ^{いなわしろこ} 猪苗代湖から ^{みず} 水を ^ひ 引いた ^{すいろ} 水路は？

^{あさか} ア 安積疏水 ^{たまがわじょうすい} イ 玉川上水 ^{びわこ} ウ 琵琶湖疏水 ^{みぬま} エ 見沼代用水 ^{こたえ} _____

14 ^{きょうど} 郷土の ^{はってん} 発展に ^{ひと} つくした ^{こうせき} 人の ^{いま} 功績を ^{おこな} 今も ^{なん} たたえて ^{なん} 行われるのは？

^{きねん} ア 記念の ^{まつ} 祭りや ^{わるぐち} ひょうしょう ^い イ 悪口を ^{なまえ} 言うこと ^け ウ 名前を ^{わす} 消すこと ^{なん} エ 忘れること

^{こたえ} _____

15 ^{えど} 江戸時代の ^{ようすいろ} 用水路の ^{こうじ} 工事で、^{おも} 主に ^{はたら} 働いたのは ^{なん} だれ？

^{がいこく} ア 外国の ^{へいし} 兵士たち ^{がっこう} イ 学校の ^{せんせい} 先生たち ^{とお} ウ 遠くの ^{しょうにん} 商人たち ^ち エ 地いきの ^{のうみん} 農民たち

^{こたえ} _____

16 ^{みず} 水が ^た 足りない ^{じだい} 時代、^{むら} 村どうしで ^た 田の ^{みず} 水を ^と 取り合う ^あ 争いが ^{あらそ} 起きた。これを ^お 何という？

^{こめ} ア 米そうどう ^{いっき} イ 一揆 ^{みずあらそ} ウ 水争い ^{かっせん} エ 合戦 ^{こたえ} _____

17 ^{とおじゅんはし} 通 潤 橋のような ^{いしばし} 石橋を ^{つく} 作る ^も わざを ^{しよくにん} 持っていた ^{なん} 職 人を ^{なん} 何という？

^{のうみん} ア 農民 ^{しょうにん} イ 商人 ^{せっこう} ウ 石工 ^{りょうし} エ 漁師 ^{こたえ} _____

18 ^{びわこ} 琵琶湖疏水は、^{そすい} 水を ^{みず} 送る ^{おく} ほかに ^{なに} 何の ^{とお} 通り道にも ^{みち} なった？

^{せんろ} ア 線路を ^{はし} 走る ^{でんしゃ} 電車 ^{みち} イ 道を ^{はし} 走る ^{そら} トラック ^と ウ 空を ^{ひこうき} 飛ぶ ^{飛行機} 飛行機 ^{にもつ} エ 荷物や ^{ひと} 人を ^{はこ} 運ぶ ^{ふね} 船

^{こたえ} _____

19 ^{きかい} 機械の ^{むかし} ない ^{つち} 昔、^{つか} 土を ^{どうぐ} ほるのに ^{なん} 使った ^{なん} 道具は？

^{ショベルカー} ア ショベルカー ^{そうじ} イ 掃除機 ^ウ ダンプカー ^エ くわや すき ^{こたえ} _____

20 ^{むかし} 昔の ^{だいぐ こと} 大工事で ^{つか} 使われた「もっこ」とは？

^{がっき} ア 楽器 ^い イ はきもの ^{つち いし} ウ 土や石を ^{はこ どうぐ} 運ぶ 道具 ^{た もの} エ 食べ物 きたえ _____

こたえ しょう4 しゃかい「郷土を開いた人々」 その2

- | | | | |
|----|-------------------|----|-----------------------|
| 1 | エ 水があふれ、田や家が水につかる | 11 | エ のみと つち |
| 2 | ウ 全国を自分の足で歩いて測量した | 12 | ア 測量 → 水路をほる → 田に水を引く |
| 3 | イ 通潤橋 | 13 | ア 安積疏水 |
| 4 | ウ 人々の暮らしを豊かにしたから | 14 | ア 記念の祭りやひょうしょう |
| 5 | ウ 多くの人の協力と長い年月 | 15 | エ 地いきの農民たち |
| 6 | ア 根で土をしっかりと固めるため | 16 | ウ 水争い |
| 7 | ア 水車 | 17 | ウ 石工 |
| 8 | ア 用水路 | 18 | エ 荷物や人を運ぶ船 |
| 9 | イ 水を分ける水門や分水 | 19 | エ くわや すき |
| 10 | ア 設計図 | 20 | ウ 土や石を運ぶ道具 |